

南魚沼市監査委員告示第 4 号

監 査 結 果 の 公 表

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づく監査を実施したので、同条第9項の規定により監査の結果に関する報告を別紙のとおり公表する。

平成27年11月26日

南魚沼市監査委員 河 野 和 男

南魚沼市監査委員 桑 原 圭 美

南 魚 監 第 7 0 号
平成 2 7 年 1 1 月 2 6 日

南 魚 沼 市 長 井 口 一 郎 様
南 魚 沼 市 議 会 議 長 山 田 勝 様

南魚沼市監査委員 河野 和 男
南魚沼市監査委員 桑原 圭 美

財政援助団体等の監査の結果に関する報告について（提出）

地方自治法第 1 9 9 条第 7 項の規定に基づき、財政援助団体等に対する監査を実施したので、同条第 9 項の規定により監査の結果を報告する。

記

1 監査の対象

平成 2 6 年度において、南魚沼市が補助金を交付した団体（財政援助団体）、及び公の施設の管理を行わせている団体（指定管理者）。

2 監査の実施期間及び実施団体

平成 2 7 年 9 月 1 0 日から平成 2 7 年 1 0 月 2 9 日まで

実 施 日	実 施 団 体
平成 2 7 年 9 月 1 0 日	医療法人社団萌気会
1 0 月 1 3 日	五城土地改良区 株式会社飛鳥
1 0 月 1 5 日	南魚沼市塩沢地域農業再生協議会 南魚沼市大和・六日町地域農業再生協議会
1 0 月 2 8 日	しおざわ農業協同組合 学校法人里咲学園
1 0 月 2 9 日	南魚沼市雪まつり実行委員会

3 監査を実施した監査委員

南魚沼市監査委員 河野 和男
南魚沼市監査委員 中澤 一博

4 監査の方法

監査の実施にあたっては、現地に赴き、各団体から提出された資料、及び提示のあった関係帳簿・関係書類を調査するとともに、特に、以下の点を中心に関係職員からの説明を聴取するなどの方法で実施した。また、指定管理者が管理する施設（以下「指定管理施設」という。）については、当該施設の現地調査を実施した。

- (1) 交付された補助金が交付目的どおりの効果を発揮しているか
- (2) 指定管理者制度が有効に機能しているか

5 監査の結果

交付された補助金等に係る出納その他の事務は、概ね適正に処理され、その目的どおりの効果があるものと認められた。

指定管理施設の管理・運営についても概ね適正に行われているものと認められた。

各団体に係る監査の結果は、以下のとおりである。

○医療法人社団 萌気会（南魚沼市立浦佐認定こども園指定管理者）

1 指定管理施設の概要

名 称：南魚沼市立「浦佐認定こども園」

所 在 地：南魚沼市浦佐5278番地9

開 設：平成23年4月1日

定 員：180名

指定期間：平成23年4月1日から平成33年3月31日まで

委 託 料：149,266,632円（平成26年度管理委託料）

補 助 金：48,083,619円（特別保育事業補助金ほか3件）

2 指定管理者の概要

名 称：医療法人社団 萌気会

住 所：南魚沼市浦佐330番地5

設 立：平成5年

3 監査の結果

(1) 平成26年度決算額

(単位：千円)

収 入		支 出	
受 託 料	155,483	人 件 費	168,662
補 助 金	48,191	事 業 費	35,160
利 用 料 収 入	11,488	そ の 他	3,827
そ の 他	4,740	(当期純利益)	12,253
合 計	219,902	合 計	219,902

*補助金は、一時保育事業を含む。

(2) 監査結果

指定管理施設及び交付された補助金に係る関係書類・出納関係帳簿は、概ね適正に処理されているものと認められた。

○五城土地改良区

1 補助金の交付状況（平成26年度）

(1) 南魚沼市産業振興事業 農道整備事業等償還補助金 14,497,142円

(2) 南魚沼市農業用施設維持修繕事業補助金 1,138,000円

(3) 南魚沼市産業振興事業 H25台風18号農地施設等災害復旧事業費補助金 3,485,000円

2 団体概要

名称：五城土地改良区
設立：昭和40年4月1日
地区面積：1,275ha
組合員数：1,503人

3 監査の結果

(1) 平成26年度事業実績

1) 農道整備事業等償還補助金

借入件数 44件
償還額 元金 13,159,565円
利子 1,337,577円
計 14,497,142円

2) 農業用施設維持修繕事業補助金

(単位：円)

総事業費	うち市補助金	うち事業者負担金
13,396,937	1,138,000	12,258,937

事業内容

修繕費 8,914,009円
水路管理費 4,482,928円

3) H25 台風18号農地施設等災害復旧事業費補助金(繰越事業分)

(単位：円)

総事業費	うち市補助金	うち事業者負担金
5,188,529	3,485,000	1,703,529

(2) 監査委員の所感

農道整備事業等償還補助金については、計画どおり償還を進めていた。

土地改良区が行っている農業用施設維持修繕事業は、良好な市民生活を営むうえで不可欠なものである。地元からの追加要望が多いことから事業の需要の高さがうかがえる。今後も施設の老朽化等により更に需要が増えていくことと思われるが、計画的な施設の維持修繕と長寿命化を望むものである。

○株式会社 飛鳥(南魚沼市斎場指定管理者)

1 指定管理施設の概要

名称：南魚沼市斎場
所在地：南魚沼市思川576番地1
供用開始：平成22年9月1日
火葬炉数：5基(うち、ペット炉1基)
指定期間：平成25年4月1日から平成30年3月31日まで
委託料：36,710,153円(平成26年度)
指定管理業務：

- (1) 斎場の火葬に関する業務
- (2) 斎場の施設・設備の維持管理に関する業務
- (3) ペットの火葬及びペット火葬利用料の徴収に関する業務
- (4) その他、斎場の管理運営に必要な業務

*一般火葬の使用許可及び使用料の徴収は市の業務

2 指定管理者の概要

名称：株式会社 飛鳥

所在地：新潟県南魚沼市塩沢799番地15

設立：平成5年4月1日

資本金：77,000千円

主たる事業：葬祭業

3 監査の結果

(1) 平成26年度事業内容

1) 決算額

(単位：千円)

収 入		支 出	
指 定 管 理 料	35,291	運 営 費	13,300
指定管理料精算金	1,419	施 設 管 理 費	8,354
小動物火葬料金	2,100	人 件 費	15,857
冬期水道料金精算金	11	諸 経 費	1,729
(翌年度精算金)	419		
合 計	39,240	合 計	39,240

*諸経費＝運営費予算額×15%相当

2) 事業の概要

ア) 職員体制

斎場長 1名 斎場次長 1名 業務員 3名 嘱託職員 3名

イ) 一般火葬炉

- ・受入件数 861件 (午前 751件 (87.2%) 午後 110件 (12.8%))
- ・稼働日数 304日
- ・平均受入件数 2.8件/日 (最大受入件数 7件/日)
- ・平均来場者数 21人/件 (最大 53人 最少 0人)

ウ) 小動物炉

- ・受入件数 206件
- ・稼働日数 304日
- ・平均受入件数 0.7件/日

(2) 監査委員の所感

斎場使用に係る予約システムにより、二重予約等の単純ミスもなく交通整理ができており、効率的で公正な運営を行っていた。施設の維持管理についても効率的な管理に意を用いていた。

○南魚沼市塩沢地域農業再生協議会

1 補助金の交付状況（平成26年度）

- (1) 塩沢地域農業再生協議会補助金 10,020,000円
 (2) 経営所得安定対策推進事業費補助金 6,198,000円

2 団体概要

名称：南魚沼市塩沢地域農業再生協議会

区域：南魚沼市塩沢地域

目的：経営所得安定対策の推進、農地の利用集積、耕作放棄地の再生利用等

会員：南魚沼市、南魚沼市議会、南魚沼市農業委員会、しおざわ農業協同組合、生産者、消費者団体等の14の団体から選出されている。

3 監査の結果

(1) 平成26年度決算の概要

(単位：千円)

収 入		支 出	
市 補 助 金	10,020	協議会単独助成金	11,091
農 協 負 担 金	6,680	農家組合達成助成金	5,697
地域間調整・地域とも補償拠出金	38,364	地域間調整・地域とも補償超過達成助成金	38,480
経営所得安定対策推進事業補助金	6,198	経営所得安定対策制度推進事業費	6,198
雑 収 入	355	協議会事務局経費	28
		(次年度繰越金)	123
合 計	61,617	合 計	61,617

(2) 補助事業の概要

塩沢地域農業再生協議会補助金は、生産数量目標の達成のため協議会が単独で行う助成事業（団地助成、農家組合達成補助金等）に補助され、事業費の60%（JAが40%）を負担するものである。

経営所得安定対策推進事業費補助金は、米等の直接支払のための事務費に補助され、その全額が国の予算で措置され、市の予算を通じて協議会に交付されている。

(3) 監査委員の所感

平成26年度の塩沢地域の転作率は37.0%で、県間調整1,100tを加味した実質の転作率は22.5%程度である。また、その達成率は98.5%である。高価格米の「魚沼コシヒカリ」の産地でありながら、生産調整という枠を設定されたなか、いかに農家所得の向上を図るかに苦慮していた。米に次ぐ作物がなかなか見いだせないなかでは、これ以上の生産調整の強化は困難ではないかと感じた。

○南魚沼市大和・六日町地域農業再生協議会

1 補助金の交付状況（平成26年度）

- (1) 大和・六日町地域農業再生協議会補助金 11,220,000円

(2) 経営所得安定対策推進事業費補助金 5,020,000円

(3) 農業再生協議会等活動支援事業（地域協議会取組推進）費補助金
500,000円

2 団体概要

名称：南魚沼市大和・六日町地域農業再生協議会

区域：南魚沼市大和地域及び六日町地域

目的：経営所得安定対策の推進、農地の利用集積、耕作放棄地の再生利用等

会員：南魚沼市、南魚沼市議会、南魚沼市農業委員会、魚沼みなみ農業協同組合、生産者、消費者団体等の14の団体から選出されている。

3 監査の結果

(1) 平成26年度決算の概要

(単位：千円)

収 入		支 出	
経営所得安定対策 推進事業	5,020	経営所得安定対策 推進事業	5,067
農業再生協議会等 活動支援事業	500	協議会単独助成事業	13,932
市補助金	11,220	集落とも補償 活動助成金	10,336
J A 負担金	7,480	地域間調整支出金	64,900
地域間調整・地域とも 補償拠出金	70,926	稲作農業の体質強化 緊急対策事業	14,526
稲作農業の体質強化 緊急対策事業	14,525	そ の 他	1,468
そ の 他	2,384	(次年度繰越金)	1,826
合 計	112,055	合 計	112,055

(2) 補助事業の概要

大和・六日町地域農業再生協議会補助金は、生産調整達成のため協議会が単独で行う助成事業（団地助成、集落とも補償活動助成金等）に補助され、事業費の60%（JAが40%）を負担するものである。

経営所得安定対策推進事業費補助金は、その推進活動に係る対象経費に補助され、その全額が国の予算で措置され、市の予算を通じて協議会に交付されている。

農業再生協議会等活動支援事業（地域協議会取組推進）費補助金は、協議会が行う協議会の開催や需給調整等に係る農業者への各種支援対策の運営費に対し、新潟県がその2分の1を基本に補助するものである。

(3) 監査委員の所感

平成26年度の大和地区、六日町地区の転作率は各々34.3%、35.8%で、これに地域間調整の2,130tを加味すると、実質的には20%程度とのことである。

「農家所得が最大限になるようにする」ことを基本スタンスに、農家にとって一番有利な

施策の展開を模索していた。生産調整では県間調整に取組み実質的な作付面積の確保であり、八色スイカや八色しいたけ等の園芸作物への取組みである。しかしながら、塩沢地区同様、これ以上の生産調整は困難ではないかと感じた。

○しおざわ農業協同組合（南魚沼市農産物・特産品直売所指定管理者）

1 補助金等の交付状況（平成26年度）

(1) 指定管理委託料 3,600,000円

2 指定管理施設の概要

- (1) 施設名称：南魚沼市農産物・特産品直売所
- (2) 所在地：南魚沼市下一日市855番地（道の駅南魚沼敷地内）
- (3) 敷地面積：2,050㎡（直売所ゾーン部分）
- (4) 延床面積：612.98㎡
- (5) 建物の構造：木造平屋建 3棟
- (6) 施設の構成：直売所棟、屋外トイレ棟、休憩交流棟、敷地内の外溝、その他付随する施設

3 指定管理団体の概要（平成26年度末）

- (1) 名称：しおざわ農業協同組合
- (2) 組合員数：正組合員 3,575人、准組合員 2,833人、合計 6,408人
- (3) 出資総額：8億3,812万円
- (4) 職員数：230人
- (5) 総資産額：484億9,183万円

4 監査の結果

(1) 収支の概要

1) 販売高の推移 (単位：千円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
米	39,322	48,791	51,615
酒・その他	16,252	22,833	25,663
農産物	42,349	32,256	33,810
加工品等		27,835	32,773
物販	78,820	112,618	128,044
計	176,743	244,333	271,905

2) 平成26年度決算額 (単位：千円)

収 入		支 出	
委 託 料	3,333	人 件 費	20,091
販 売 手 数 料	58,194	業 務 費	3,603
そ の 他	6,607	施 設 費	9,240
		そ の 他	3,099
		(直 売 所 利 益)	32,101
合 計	68,134	合 計	68,134

*委託料は消費税抜きの額である。

(2) 監査委員の所感

平成26年度は年間来客数約40万人、販売額2億7千万円と非常に順調な運営状況となっている。来客数の約8割程度が市外から訪れ、地元から離れたいわゆる観光客を相手にした運営である。出荷協議会の会員は175人で、平均販売額は20万円から30万円程度とのことである。「野菜農家が少ない、大規模農家が少ない、米の単作地帯である」という、農産物直売所としては厳しいなか、物販を収益源の柱とし、状況にあった運営がなされていた。

同一敷地内に今泉記念館がある。非収益施設で異なる指定管理者であるが、統一イメージをつくり、お互いに発展していくことを望むものである。

○学校法人 里咲学園（南魚沼市立上町保育園指定管理者）

1 指定管理施設の概要

名称：南魚沼市立「上町保育園」

所在地：南魚沼市六日町928番地3

開設：平成19年4月1日

定員：110名

指定期間：平成19年4月1日から平成29年3月31日まで

委託料：70,657,958円（平成26年度管理委託料）

補助金：43,858,660円（特別保育事業補助金ほか7件。むいかまちこども園を含む）

2 指定管理者の概要

名称：学校法人 里咲学園

住所：南魚沼市余川1519番地

設立：昭和48年

法人の目的：幼稚園教育、医療・福祉

3 監査の結果

(1) 平成26年度事業内容

1) 決算額

○上町保育園

(単位：千円)

収 入		支 出	
運 営 費 収 入	70,033	人 件 費	65,491
市 補 助 金	16,173	事 務 費	11,283
利 用 料	671	事 業 費	12,922
そ の 他	1,607	そ の 他	1,426
(当期収支差額)	2,638		
合 計	91,122	合 計	91,122

*管理委託料のうち特別施設分625千円は、経常経費補助金に含む。

○むいかまちこども園

(単位：千円)

収 入		支 出	
市 補 助 金	28,147	人 件 費	86,879
国 県 補 助 金	69,735	経 費	51,796
授 業 料 等 納 付 金	15,780	借 入 金 利 息	977
事 業 収 入	25,256	(当年度超過額)	1,361
そ の 他	7,414		
基本金組入額合計	△5,319		
合 計	141,013	合 計	141,013

2) 定員と入園状況 (平成26年6月現在)

○上町保育園

(単位：人)

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
3	11	12	24	20	24	94

*定員110人

○むいかまちこども園

(単位：人)

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2	12	19	43	45	41	162

*定員192人 六日町保育園児87人、六日町幼稚園児75人

3) 職員配置

○上町保育園

・園長	1名	・主任	1名
・保育士	13名	・管理栄養士	1名
・調理員	2名	・事務員	1名
・保育補助員	3名		

○むいかまちこども園

・施設長兼保育園長	1名	・幼稚園長	1名
・主任	1名	・保育教諭	9名
・臨時保育士	10名	・助教諭	2名
・栄養士	1名	・調理員	3名
・事務員	1名	・保育補助員	9名
・運転手	1名		

(2) 監査委員の所感

「上町保育園には、園歌があります。これを入園式や卒園式等の行事の折々に歌うと、保護者の皆さんはびっくりするとともに、感激します。」と、園長先生の第一声である。

指定管理制度による、保育園の学校法人による管理運営は、県内初めての試みとして平成19年4月からスタートした。今年で9年目となる指定管理者からは、大きく二つのことが

話された。一つは園舎の修繕関係や立地環境等であり、二つは保育士の確保・処遇改善の問題である。前者は、風通しの悪さ（夏の暑さ）、園庭の緑化（木陰）、施設の老朽化等の問題で、どちらが危険負担するかの問題である。後者は全国的な問題でもある。

子どもたちの元気な声があふれる保育園であり続けるよう、英知を期待するものである。

○雪まつり実行委員会

1 補助金の交付状況（平成26年度）

(1) 南魚沼市雪まつり運営費補助金 8,500,000円

2 事業概要

南魚沼地域最大の雪のイベント「南魚沼市雪まつり」として位置付け、利雪・遊雪を目的に観光客誘致と地域経済の活性化を図り、市民も楽しめるよう事業の実施を行っている。近年はテーマを「原点回帰」昔ながらの雪まつりとして、雪を楽しみ、ふれあう体験型の事業実施としている。

3 監査の結果

(1) 平成26年度決算額

(単位：千円)

収 入		支 出	
市 補 助 金	8,500	本 部 費	528
負 担 金	380	会 場 費	9,754
寄 附 金	3,859	宣 伝 費	497
貸 料	770	ス テ ー ジ ・ イ ベ ン ト 費	1,916
そ の 他	505	そ の 他	736
		(次年度繰越金)	583
合 計	14,014	合 計	14,014

(2) 監査委員の所感

南魚沼地域最大の雪のイベントとして第65回の実績となっている。事業実施にはシーズン中の降雪量や当日の天候などの影響が大きいなか、毎年さまざまな事業を工夫して実施し、「ほんやら洞」による地域とのふれあいは他にはない独自のものと位置付け展開してきている。

しかしながら、近年は費用的に縮小傾向となり、また運営主体と地元地域との温度差が出てきつつある。世代交代などにより関わりが希薄となってきたなど要因は様々であるが、改めて地元から盛り上げていこうという意識の醸成などの検討が必要ではないかと感じた。